

私たちの町議会 りくべっ

No. 95

発行日・平成31年2月15日
編集・議会運営委員会
発行・北海道陸別町議会

12月定例会

陸別町議会12月定例会は、昨年の12月11日、12日の2日間開かれました。今定例会では、条例案4件、補正予算案7件、意見書案1件、その他1件を可決し、閉会しました。

4月から「燃やすごみ」と「燃やさないごみ」に ～資源ごみの分別はこれまでとほぼ同じ～

ごみ処理関係の条例改正案の審議から



○4月からの一般家庭のごみ処理手数料のうち、指定ごみ袋の料金は据え置きとなりました。

《参考》
10リットル袋 300円（10枚入）
ごみ袋は新しく2種類の袋となります。

「燃やすごみ袋」
↓生ごみ、汚れた衣類、下着類、ティッシュなど

「燃やさないごみ袋」
↓革製品、資源ごみとして出せなくなるプラスチックなど

なお、粗大ごみ等を捨てる際に必要な「ごみ処理券」は、1枚200円から300円に値上げします。

補正予算質疑から

○冬季生活支援（福祉灯油）事業 300万円

○日本一寒い町だからこそ、温かい政策として、灯油の価格に変わらず毎年実施すべきではないか。

○A これまでは、灯油価格の高騰分を補てんすることを目的として、おおむね1リットル100円を超える年に実施してきたが、ご意見を前向きに受け止め、どのような方法があるのか調査研究したい。



▶これまでのごみ袋は、なるべく余りを出さないように、計画的に使いたいですね。

平成30年度 各会計補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	4,139万円	45億4,161万円
特別会計		
国保事業勘定	11万円	4億2,434万円
国保直診施設勘定	35万円	3億4,424万円
簡易水道事業	△311万円	2億2,939万円
公共下水道事業	△2,083万円	1億3,973万円
介護保険事業勘定	△38万円	3億2,445万円
後期高齢者医療	△92万円	4,274万円

○林業・木材産業構造改革事業補助金 9千761万円

事業の内容は、
○A 町内のチップ工場
○Q の施設・装置の更新
に対し、町を通して国から補助金が交付される。

一般質問

山本厚一 議員

今後の政治姿勢

について

Q 町長の重点施策についての取り組みとその成果は。

(野尻町長)

A 前回の選挙で5つの重点施策を公約とし、具体策約30項目を示して進めてきた。

懸案のバイオガスパラント事業もF-T（再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度）に乗ることができて方向付けができた。施策のそれぞれに、皆さんの協力があつたからこそ実現できたものと感謝している。

Q あらたな元号になる2019年からの町づくしの構想は。

(町長)

A 人口の少ない地方自治体では、しばらくは環境の厳しさが続くと思われるが、過疎化や高齢化に

嘆くばかりではなく、人口減少の現実を受け入れて、この地域で住民が幸せに暮らしていける環境整備を図ることが現実的で大事なことであり、陸別らしいチャレンジ精神を持ち続けて、多様性を維持することが大切だと思っている。

人口減少対策等は一朝一夕にはできない。努力あるのみ、前進あるのみと信じている。

Q 来期に向けた町政について、どの様に考えているか。

(町長)

A 1期目を通じて、町のいろいろな課題が見えてきた。

町民の皆さんの協力や応援を頂けるなら、次期も町政の舵取りをさせて頂きたい。

より良い陸別町の町づくりに励んでいきたいと決意を新たにしたいところである。

久保広幸 議員

誰もが安心して暮らせるまちづくりについて

Q 介護保険事業計画の認知症施策として地域支援事業に位置付けられる認知症初期集中支援チームは、どのような職種で組織されるのか。

また、認知症地域支援推進員には、どのような方を委嘱し、どのような支援を行っているのか。

(野尻町長)

A 認知症初期集中支援チームは、医師と保健師や介護福祉士で組織されており、認知症の初期診断を行っている方への支援及び必要なサービスへの「つながり」を業務としている。

また、認知症地域支援推進員には、地域包括支援センターの職員2名が登録されており、主に「ほっとカフェ」において介護相談業務を行っている。

認知症の早期発見、早期

対応には認知症初期集中支援チームや認知症地域支援推進員だけでなく、町民からの情報提供も重要であり、地域の方が「何か変だな」と思った時には地域包括支援センターに相談してほしい。

Q 9月6日の大規模停電の際、町の担当者はこの非常事態の把握をどの時点で、どの様に行ったのか。

(町長)

A 午前3時7分に地震が発生、携帯電話の緊急通報を受けて防災と水道の担当者が同27分に登庁した。

同40分庁舎の発電機の稼働により情報収集を開始、午前5時15分に管理職を招集、指示により各課等の担当者による情報収集を開始した。

同35分に「愛の鐘」で停電の第1報を放送し、午前6時35分から広報車4台を出动させて町民周知を行った。

12月定例会では6人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

一般質問

また、保健師及び地域包括支援センター職員も朝から要支援者宅を訪問するなどして安否確認を行っている。

Q 地域の高齢化が進む中、札幌圏への都市間バスの十勝オホーツク道を經由する路線の営業を働きかけるなど、高規格幹線道路体系の整備に伴う今後のまちづくりを伺う。

(町長)

A 小利別ーCは、陸別市街地までの高規格幹線道路の開通により原則撤去されるが、他の活用も検討する。

陸別ーCは、ハーフィンターとして北見方面と帯広方面で別々に設置される。

これにより市街地での休憩、観光施設等での体験・滞在など、これらを動線ですなぐ取り組みが必要であり、関係機関や団体等と十分連携・協議していきたい。

都市間バスは、ふるさと銀河線の代替バスとの競合により代替バスの運行に對

する国・道の補助金が大幅に減額されるため、平成18年4月にふるさと銀河線の廃止に伴い運行廃止となったが、今後考えていく必要があるため、ご意見は参考とさせていただきます。

認知症の方も取得できる精神障害者保健福祉手帳

について

Q 認知症の方々に精神障害者保健福祉手帳が取得できることを知らせる必要があるのではないかと、この手帳の取得によりどのような支援が受けられるのか。

(町長)

A この手帳は全ての認知症の方が取得できるわけではなく、指定医療機関に6カ月以上通院し、医師が相当と判断しなければ発行には至らない。

市町村は、手帳の取得を積極的に促す必要はなく、相談があった場合に医師に相談するよう伝えることと北海道に確認している。

手帳の所持者は、所得税や住民税及び相続税の控除、自動車税や自動車取得税の軽減（1級の手帳所持者）、更にはNHKの放送受信料や公共料金の割引、その他にも様々な支援が受けられる。

中村 佳代子 議員

連続テレビ小説「なつぞら」の放送にあたり本町の観光PRについて

Q このドラマの撮影や放送に当たっては、オー

ル十勝で応援体制を整えているが、撮影場所となった陸別町の行政としては、どのような対応を考えているのか。

(野尻町長)

A 実際のロケ地は現役学による迷惑がかからない方法を考えなければならぬ。

ロケセットのうち単独設置されたサイロは町内での移設が可能だが、その場合には場所・方法・経費などの検討が必要だ。

NHKの連続テレビ小説は全国の多くの方が見ており、特にこのドラマは前評判も高く陸別をPRする大きなチャンスである。

もっと行政がリーダーシップを取り、道の駅を核とした観光につなげるとともに町のPRを強化すべきではないか。

(町長)

A 十勝全体としても「のほり」の作成が予定されている。

当町では、商工会がPRを検討しているようだが、観光協会など関係機関でじっくり検討を進める必要がある。

また、町と郵便局において記念切手の発行が検討されている。

いずれにしても、陸別町をPRする又とないチャンスであるので、時間はあまさないが、道の駅を核として観光につなげることなど、いろいろと探りながら、考えられる可能なことは実施していきたい。

「次のページへ続く」

一般質問

平成31年度よりスタートする 小中一貫教育について

Q これまでの準備期間において、どのような取り組みを行ってきたか。

(野下教育長)

A 小中一貫教育推進委員会を設置し、9年間を見通した学習プラン、生活プランの作成、ふるさと科創設に向けた協議、小中乗り入れ授業、キャリア教育などを取り入れた。子ども達は日々楽しく過ごしており、目指す「きらりと光る子ども達」に近づいてきている。

Q 小中一貫教育に進むにあたり、新たな取り組みはあるのか。

また、行事などを合同で行うことはあるのか。

(教育長)

A 陸別学習プラン・生活プランは先進的で画期的な取り組みであり、他町に誇れるものとして活用を期待している。



行事などを合同で行っている自治体もあるが、当町はまだ単独での開催を続ける考え。

なお、児童生徒の交流は考えている。

Q 小中一貫教育が目指すところは、中学校卒業後の次のステージにおける子どもの姿であり、進歩した学校での子どもの状況の把握や検証が必要ではないか。

(教育長)

A 近隣の学校には出向いたり、学校管理職や担任から情報をもらっている。行政の方でもできる限り情報収集して、学校との協調による情報共有を図りながら、今後目指す中3像のバージョンアップを図っていききたい。

渡辺三義 議員

建設事業環境と 第5期陸別町 総合計画について

Q 第5期総合計画における道路整備の進捗状況について伺う。

(野尻町長)

A 道路などは、平成23年度に町道等維持管理実施計画を策定して整備してきたが、ほぼ目標は達成できると考えている。

Q 工期の設定や予備日についてどの様に取り組み、工事発注はどのように進められているか。

(町長)

A 工期の設定及び予備日の取り方は、北海道が定める実施要領に準じて決定している。工事発注は、補助交付申請の伴う工事又は占用許可を伴う工事は許可が出てからの発注となる。

その他の工事についても現場周辺の状況などを勘案

しており、河川改修工事などは冬季の湯水時期に発注している。

Q 分離発注はどのように取り組まれているのか。

(町長)

A 工種ごとに専門業者が原則だが、金額や工種、現場の条件などにより、一括発注になることもある。

Q 庁舎周辺から隣接する福祉ゾーンの歩道について、ユニバーサルデザイン化の整備計画は。

(町長)

A 道路については、パトロールや点検をし、必要に応じて改修や補修をしている。

庁舎周辺については、他の路線状況も勘案して改修等、整備をしていきたい。



一般質問

Q 第5期総合計画、第8期社会教育計画を踏まえ、平成30年度執行方針に基づき実施されてきた教育事業を通じて、子ども達の成長をどのように捉えているか。

(野下教育長)

A 子ども達は、目指す方向に向かっていく。

気になる点としては、親が子ども達を学校まで送る機会が多いこと。友達同士仲が良いが親しき仲にも礼儀ある態度を身につけなければならぬ。

キャリア教育、ふるさと学習、学力向上により、着実に陸別の未来を切り開く力が育っていると感じている。

Q 第5期総合計画の進捗状況に対する、現時点での町長の思いを伺う。

(町長)

A 平成22年度から平成31年度までの10カ年計画だが、国の地方創生に係る本町の総合戦略の策定な

どがあり、前期と後期の計画として見直しを行い、私の公約を加えて現在に至っている。

この総合計画は、町の道しるべとなるものであり、第6期総合計画策定は町民の皆さんの声を反映させながら、しっかりとしたものを作る必要がある。

Q 町長の4年間の足取りについて感想をお聞かせください。

(町長)

A ほぼ約束した政策等は実行できた。

町民からは多くの要望があるが、優先順位の高い声を吸い上げる努力をしなければならぬ。

議員の皆さんにも政策提言をして頂きながら、一緒に町民が安心して安全に暮らせるような町にしていける努力をする事が大事だと感じました。



谷 郁司 議員

公営住宅等の件について

Q 長期間、何度募集しても入居者が決まらないという実態の原因について、どのように捉えているか。

(野尻町長)

A 要因としては、人口減少が進んだこと、移住産業研修センターの建設と民間事業者の住宅建設が進んだことにより、新規労働者の住宅が確保されたこと、また公営住宅は基本的に低所得者向けの住宅と位置付けられており、入居するには月の収入が15万8千円以下という制限があることなどが考えられる。

Q 今後の公営住宅等に関する政策と計画は。

(町長)

A 第5期総合計画の基本目標にある陸別町公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的な整備を進めている。

人口減少のことも踏まえ、現在249戸ある公営住宅等を10年後には200戸程度とする協議をしており、今後も適切な維持管理により長寿命化を図りながら、計画的に建て替え事業を実施していく。

Q アニマルセラピーの効用が広く知られるようになり、公営住宅でのペットの飼育の許可など、時代にあつた入居条件に見直し、ルール化(要綱等の制定)を図ってはどうか。

また、平成30年3月30日付け国土交通省通達による条例の改正は。

(町長)

A ペットの種類にもよるが、共同で使用する住宅であるため騒音やアレルギー、匂いの問題などがある。ある程度年数の経った住宅の利用は、今後考えていきたい。

国土交通省からは、債権関係の規定の見直しや、単身高齢者の増加などの公営

「次のページへ続く」

一般質問

住宅を取り巻く状況を踏まえて公営住宅管理標準条例(案)が改正されており、地域の実情を総合的に勘案して適切な対応を行う旨通達された。

現在、北海道で条例改正が協議されているが、多くの課題があり、当町でも今後、関係機関と連携しながら条例改正に向けて協議していく。

市街地における歩道の安全を守るための横断歩道の件について

Q 市街地の国道、道道、町道の接合部において、安全に道路を横断するための歩道が少なく、特に町内の食料品を扱う店舗に行くための横断歩道がない。

また、通学路の動線上で必要な歩道が設置されていない箇所が見受けられるが、町に対して自治会等の要望はないか。

A (町長) 自治会等からの要望の箇所もあるが、横断

歩道は釧路方面公安委員会が設置することとなっている。

そのため、町から陸別駐在所に伝え、本別警察署を通じて公安委員会に連絡され、公安委員会が要望のあった現地を確認して、必要と判断された場合に設置されることとなる。

利用者が少ないなどの理由により設置に至らない場合もあるが、今後町に要望が届けられた場合は、速やかに要望していく。

Q 通学路の照明が暗いと、苦情があり、調査すると、国道・道道・町道の各所で街路灯・防犯灯が故障している箇所や、間隔が空いていて暗く感じる場所がある。

この時期は日暮れも早く、早急に改善できないか。

A (町長) 防犯灯は概ね3年か5年ごとに1度、位置や、要・不要の判断を行っている。

また、年次計画を進めてきたLED化の工事でも状況を確認している。

普段から住民からの苦情や指摘には対応しているが、本件について担当では連絡を受けていなかった。

今回、街路灯・防犯灯を所管する各担当者において調査したが暗い場所は見当たらなかったため、さらに細やかな調査をし、必要があれば整備する。

Q 小学校前の傾いた信号機を整備できないか。

(町長)

A すでに駐在所を通して公安委員会に連絡されており、整備されるのを待っている状況である。



多胡裕司 議員

災害に強い

まちづくりについて

Q 平成30年9月に発生したブラックアウトを経験し、今後の長時間停電に備えた対応について伺いたい。

(野尻町長)

A 過去の経験から、ふるさと交流センター(道の駅)に自家発電機が設置され、災害用備蓄品も年次計画で整備を進めている。

9月の停電では、役場庁舎は3台の発電機により最低限の電源は確保できた。上下水道、医療機関も自家発電機で平常どおり稼働し、教育関係では職員による通学路の安全確保、給食の非常食対応により通常の授業が行われた。

住民には、愛の鐘で放送し、郊外は職員が4班体制で周知した。

今後は、自家発電機の設置と庁舎の営繕計画にあわ

一般質問

せたエアコンの設置などを検討し、その他の各公共施設も営繕、新築、改修の計画にあわせて災害時対策の検討を進める。

Q 通信網が不通となる場合に備えた対応について伺いたい。

(町長)

A 長時間停電の場合、携帯電話事業者は電源車の出動をすることだが、非常時には全道規模での通信確保対策が必要となるため、今後関係機関への要請を行っていく。

また、この場合には緊急通報(110番や119番など)も出来なくなってしまうため、基本的には駆けつけ通報しれない。
現状では消防車両などによる巡回・住民周知となる。
なお、消防署には消防用無線機、衛星携帯電話(2台)を配備しており、応援要請など、とかち広域消防局との連絡体制は確保されている。

Q 町内での火災に備え、建設業協会との連携、大型機械の投入などが必要ではないか。

(町長)

A 火災現場によっては出火原因が事件性のあるものもあり、消火活動では現場保存など細心の注意を払う必要がある。

所有者の責任問題、借上機械や公務災害の補償問題など、現状ではなかなか難しい。

農村地区や林野の火災では、水利状況が悪く消火体制構築に時間を要することも多いので、河川等の自然水利の確保が重要と考えており、今後も更に近隣消防団との連携強化並びに確実な水利の確保と消火体制の整備を図っていききたい。

広域消防になり、地域間の連携や作業連携など、まだまだ課題はあるが、より良い体制とするため、一つずつ整理をすることが必要である。

第4回臨時会

10/19

一般会計補正予算(第5号)を審議し、可決しました。

○主な内容

バイオガス関連会社(新規設立)への出資金

Q 次年度以降、34億円超の大型事業が始まるが、採算はとれるのか。

A 事前の調査に十分な時間をかけ、試算を重ね、熟慮した結果、採算はとれると判断した。

第5回臨時会

12/27

陸別町職員が町内関係4団体の資金を横領した事件の監督責任を明らかにするとして、町長及び副町長の給与の減額(特別職の給与条例の改正案)が提案され、賛成多数で可決しました。

○主な内容

町長 減給30%3か月
副町長 減給20%3か月

条例・その他の審議結果

件名	審議結果
● 十勝圏複合事務組合規約の変更について	可決
● 陸別町職員の再任用に関する条例	可決
● 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町廃棄物処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	可決

東京陸別会に

出席して

報告者 本田 学

11月17日(土)、東京都内の全国町村会館にて第17回総会・交流会が開催され、陸別町からは野尻町長、石橋商工会長、高橋総務課長、そして私と多胡議員、中村議員の3名が出席しました。

来賓として鈴木貴子衆議院議員や当町と交流のある千葉県酒々井町の小坂町長外6名の皆さんが出席された中、挨拶に立った野尻町長



からは、9月23日に挙行された開町100年記念式典について語られ、私からは陸別町内でも口ケが行われた、4月から放送されるNHK連続テレビ小説「なつぞら」についてお話ししました。

交流会では、陸別の昔や今について会話する中、出席者の皆さんから激励を受けたり、これからの町づくりのエネルギーを頂くなど、有意義な時間を過ごしました。

参加された皆さんは、次回の再会を楽しみにして大盛況の中お開きとなりました。

議会の動き

【10月】

12日 議員協議会

18日 総務常任委員会町内視察(小中一貫教育等)

産業常任委員会町内視察(高規格幹線道路工事現場)

議会運営委員会(広報編集会議)

議会運営委員会(広報編集会議)

議会運営委員会(広報編集会議)

議会運営委員会(広報編集会議)

議会運営委員会(広報編集会議)

議会運営委員会(広報編集会議)

議会運営委員会(広報編集会議)



▲総務常任委員会では、小中学校の連携事業(中学校の先生による小学6年生の授業)を参観させていただきました。

▲産業常任委員会では、高規格幹線道路の工事現場や、陸別インターチェンジの建設予定地を視察させていただきました。



【11月】

6日 議員研修会(芽室町)

【12月】

3日 議員協議会

7日 議会運営委員会

11日 12月定例会

議員協議会

総務常任委員会

産業常任委員会

12日 12月定例会

議員協議会

議会運営委員会

(広報編集会議他)

27日 議会運営委員会

第5回臨時会

【1月】

17日 議会運営委員会

(広報編集会議)

可決した意見書

○JR根室線の早期災害復旧と路線維持を求める意見書

次回の定例会は3月に開催されます。

詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。

皆さんの傍聴をお待ちしております。



陸別町議会 ホームページのご案内

一般質問の録音を聞いたり、会議録などの閲覧ができるようになりました。

【陸別町議会ホームページ】
<http://www.rikubetsu.jp/gikai/>